


ハロウィン新企画「ろすのん トリック・オア・トリート」で フードロス削減と世界の飢餓撲滅に貢献！		取組開始 時期	2020年10月	取組の カテゴリ	その他（食品ロス削減啓発）
1. 団体名	一般財団法人電気安全環境研究所	2. 連携先 の団体	六甲アイランド地域振興会、神戸市、トーラク、モロゾフ、トーホー、江崎グリコ、ロスゼロ、TABETE、 『世界食料デー』月間2020事務局、国連WFP協会、Table For Two International、 農林水産省、消費者庁、ジャパンSDGsアクション推進協議会、関西SDGsプラットフォーム		
3. 取組 目的	『フードロス問題』や『世界の飢餓』といった社会的課題を、ハロウィンイベントへの参加で 楽しみながら、職場や各家庭で意識するきっかけ作り		4. 関連する ゴール		

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

コロナ禍での出張・帰省機会減少によるお土産需要低迷から、**廃棄につながりかねない「お菓子やデザート」**を買い取り（もしくは譲り受け）、食品ロス削減の啓蒙および地域支援施策の一環として、**ハロウィンノベルティとして活用**しました。

- 飲食店では、ハロウィン仮装した方が、ランチやディナーで飲食店舗を利用された際、合言葉「トリック・オア・トリート」と引き換えに、廃棄を免れたデザート等をプレゼント。（実施期間：10/1～10/31）
- 子供たちにはスタンプラリー形式で、合言葉「トリック・オア・トリート」と引き換えに、廃棄を免れたお菓子等をプレゼント。※従来より実施期間を拡大し、密にならないよう配慮。（実施期間：10/16～10/31）

参加される方々が「フードロス削減」を意識できるよう、パンフレットでの説明に加え、配付するお菓子やデザート自体にもフードロス削減キャラクター「ろすのん」のマークと、企画趣旨を説明するWEBサイトにリンクする二次元バーコードつきシールを貼付、スタンプラリーのゴール地点でも改めて、食品ロスに関するチラシを配布するなど、**イベントを楽しみながら、その過程や結果として、子どもたちと保護者との間で、「フードロス削減」や「SDGs」に関する意識付けや対話が広がるきっかけ作り**を行いました。さらに本企画参加時のハロウィン仮装写真をSNS投稿することで、世界の飢餓撲滅への寄付につながるキャンペーンをご紹介しました。

今回の参加者はのべ4,000名を超え、子どもと一緒にスタンプラリーに参加された保護者向けアンケートでは、**9割以上の方が、本イベントが家庭で食品ロスを意識するきっかけとなった。来年以降もぜひ継続して欲しいと回答**、「ハロウィンとフードロス削減」をマッチングして意識頂く、非常に良い機会となりました。

また、10月16日(金)の世界食料デー、10月30日(金)の食品ロス削減の日には、駅前では本イベントの告知を行うと共に、食品ロス削減啓蒙のチラシを配布。**廃棄につながりかねないお土産の実物を見せながら**サンプルと共に配布したところ、大変多くのかたに興味を持って頂き、約600名の方がチラシを受け取ると共にしっかりとチラシを読み込み、会話されている姿が数多く見受けられました。



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

神戸：六甲アイランドは食品工場が非常に多い地域であるとともに、日本で最も歴史ある地域ハロウィン実施地域でもある。今回は食品ロス削減月間かつ世界食料デー月間である10月に実施されるハロウィンイベントを通じ、各家庭で食品ロス削減を意識するきっかけづくりを実施した。

ステークホルダーとの連携

神戸市『協働と参画』推進助成事業として実施。農林水産省『ろすのん』積極活用。食品ロス問題の啓蒙をテーマに地域の食品会社に協力依頼したほか、食品ロス削減に積極的に取り組む行政及び各種団体とも様々な形で連携。本企画に参加した店舗にも趣旨説明を通じた啓蒙&理解促進を行った。

モデル性・波及性

収穫祭でもあるハロウィンと、フードロス削減はともに『食』をテーマとしており、また時期的要素も含め、非常に親和性が高い。今回の企画は参加関係者の満足度、他の地域からの注目度も高く、来年以降も、全国各地で『ハロウィン×フードロス削減』啓蒙企画の拡がり期待される。

自由記述欄

ステーキホルダーとの連携体制図

食品ロス予備軍のお菓子・デザート等をご提供



参加する飲食店舗・
食品メーカーと
マッチング



ろすのんトリック・オア・トリート
(合言葉を唱えるとお菓子やデザートをプレゼント)

【飲食店企画】

22店舗が
参加



【スタンプラリー企画】

21店舗が
参加



広報・助成



後援・PR



食品ロス削減等の
啓発ツール提供



〔イベント参加者〕

六甲アイランドの住民・勤労者
参加人数：延べ4,000人以上
参加者の9割以上が食品ロス削減を
意識するきっかけになったと回答



連携イベント紹介

さらに写真を投稿して世界の飢餓を救おう！



おにぎりアクション
おにぎりで世界を変える
#OnigiriAction
2020.10.11sat - 10.31sat

主催



企画



(六甲アイランド地域振興会：幹事団体)

★今後のありたい姿

9月に実施した『第1回ジャパンハロウィンサミットfor SDGs』の場で、今回の企画趣旨をご紹介し、こくらハロウィン(北九州市)、サカエハロウィン(名古屋市)、中央林間ハロウィン(大和市)では、今年のハロウィン企画から、食品ロス削減の趣旨を盛り込んで頂きました。

今後は、全国各地でハロウィンを活用したフードロス削減啓発が当たり前になるよう、企画の定着化、他地域の巻き込みを図っていく予定です。

★本企画実施の経緯

六甲アイランドのハロウィンは、通常、毎年3万人近くが参加する大規模イベントです。

今年はコロナ禍により、開催自体が危惧される中、逆にこれを機会と捉え、社会的視点での新たな価値創造を呼びかけました。

『ハロウィン×食品ロス削減』という共通目標のもと、多数の関係機関、他地域のハロウィン団体から、物心両面における多大なご支援・ご協力を頂き、本企画が実施できましたこと、改めて感謝申し上げます。